

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム		担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年～未定		担当課室	研究振興戦略官付	研究振興戦略官付 阿蘇 隆之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 9-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は、学際性、国際性、若手重視の基本理念に基づく、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度である。国際HFSP推進機構に経費を拠出し、生体が持つ複雑な機構解明を中心とする基礎研究を国際的な共同研究を通じて促進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、国際HFSP推進機構の活動である、①国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成(研究グラント)、②若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、③フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード(CDA)、④受賞者会合等の実施に必要な経費を拠出するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				1,379	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					1,379	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすため我が国が提唱したものであり、国際HFSP推進機構への拠出により、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供することを目的としていることから、定量的な指標による評価になじまない。	成果実績	-				-
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研究グラント助成実績(総受賞者数)	活動実績 (当初見込み)	件		()	()	26年度の活動計画については、26年3月に開催されるHFSP評議会において決定予定。
	フェローシップ助成実績	活動実績 (当初見込み)	件				
	CDA支援実績	活動実績 (当初見込み)	件				
単位当たりコスト	-		算出根拠	日本政府の拠出金は、グラント・フェローシップ・CDA支援等のHFSPの活動に使われるが、用途の割合を特定して拠出しているわけではない。そのため各アウトプットに対応するインプットの額を特定できないことから、単位当たりコストは算出できない。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	生体機能国際協力基礎研究拠出金	-	1370.7百万円				
	諸謝金	-	0.4百万円				
	職員旅費	-	2.7百万円				
	委員等旅費	-	0.3百万円				
	庁費	-	5.0百万円				
	計	-	1379.1百万円				

事業所管部局による点検								
	項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は基礎研究分野に対する支援であり、民間の研究のみでは解決できないところが多分にあることから、国が実施すべきであり、ニーズの高い事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	本事業は、参加各国からの拠出金を用い、HFSP事務局の審査委員による審査を経て決定した候補者に研究資金等を提供するものであり、運営経費以外の用途はない。HFSP事務局が支援国から独立して研究課題の採択を行っていることから、真に学術的な意義の高い研究につながっているという意見がある一方、日本の拠出割合に対して、日本人の採択率が低い点が指摘されているため、今後はより本プログラムを周知し、優秀な日本人研究者の応募を促進する。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○					
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業は、我が国の国際的プレゼンスを高めることに大きく貢献してきた。また、当グラントを獲得した後にノーベル賞を受賞した研究者は2012年までに合計18名にのぼり、基礎研究レベルの向上につながっている。我が国の拠出額の割合については、初年度は我が国の拠出額が全体の約97%を占めていたところ、当面は50%まで削減する目標を設定し、2010年度に達成している。今後も他参加国にさらなる拠出を求めるとともに、新たな参加国が得られるよう努める。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	当省は基礎研究振興の観点から、経済産業省は研究開発・産業技術水準の向上の観点から参加し、拠出金を分担。				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名					
		生体機能国際協力基礎研究拠出金	経済産業省					
点検結果	<p>本事業は、生体を持つ複雑な機構解明を中心とする基礎研究を国際的な共同研究を通じて促進することを目的として、国際HFSP機構へ拠出しているもので、当グラントを獲得した後にノーベル賞を受賞した研究者が2012年までに合計18名にのぼるなどの成果をあげ、世界的にも評価の高い研究プログラムとして定着していることから、今後も本事業を継続することが重要である。</p> <p>なお、我が国の拠出額の割合を50%まで削減する目標を設定していたが、2010年度に達成している。今後も他参加国にさらなる拠出を求めるとともに、新たな参加国が得られるよう努める。</p>							
外部有識者の所見								
※外部有識者による点検対象外								
行政事業レビュー推進チームの所見								
<p>本事業は、定性的な内容であるが成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
備考								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-		

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性

文部科学省
(1,371百万円)

・諸謝金 0.4百万円
・職員旅費 2.7百万円
・委員等旅費 0.3百万円
・庁費 4.9百万円

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

国際HFSP推進機構の活動である、生体の複雑な機能の解明を対象として若手研究者を中心とする研究グラント等、HFSPの各種事業の実施に必要な経費を拠出する。



〔拠出〕

【A】国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構
(1,371百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成、若手研究者が国外研究を行うためのフェロースhip、フェロースhip受賞者の母国での独立を支援するCDA、受賞者会合等、HFSPの各種事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大学等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	研究 Grant 事業、フェローシップ事業、学 際的フェローシップ事業、CDA、受賞者会合	1,371			
計		1,371	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0